

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【公開番号】特開 2003-203262 (P2003-203262A)

【公開日】平成 15 年 7 月 18 日 (2003.7.18)

【出願番号】特願 2002-229 (P2002-229)

【国際特許分類】

G 0 7 D 9/00 (2006.01)

G 0 7 D 3/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 D 9/00 4 0 8 E

G 0 7 D 9/00 3 2 6

G 0 7 D 3/00 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 3 日 (2006.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紙幣を外部から一枚ずつ取り込む紙幣ユニットにおいて、

紙幣を前記紙幣ユニット内に取り込むための取込空間と、前記取込空間近傍に位置して回転する規制部材とを備え、前記規制部材が前記紙幣ユニットに取り込まれる紙幣の進行方向側前端部を規制して、前記紙幣の後端を前記紙幣ユニットの内部面に揃えることを特徴とする紙幣入出金装置。

【請求項 2】

前記規制部材は回転軸を持ち、前記回転軸を中心に回転をすることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 3】

前記紙幣ユニット内に紙幣を取り込む際、前記規制部材は一方向に回転することを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 4】

前記紙幣ユニットは、紙幣を立位姿勢で収納することを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 5】

前記規制部材が紙幣を規制する際、前記規制部材は停止していることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 6】

前記取込空間に紙幣を取り込む際、前記規制部材は間欠駆動されることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 7】

前記取込空間に紙幣を取り込む際に、既に取り込まれている紙幣と前記取込空間の間に介在する仕切部材を前記紙幣ユニットが備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 8】

前記取込空間に取り込んだ紙幣を前記取込空間外に移動させる仕切部材を前記紙幣ユニ

ットが備えていることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 9】

請求項 7 記載の仕切部材と請求項 8 記載の仕切部材が同一部材であることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 10】

前記規制部材と、請求項 7 または請求項 8 または請求項 9 記載の仕切部材が同一部材から成ることを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 11】

前記紙幣ユニットの外部に紙幣を放出する際には、前記紙幣ユニットの内部に紙幣を取り込む際に比べ前記規制部材の前記取込空間への突出量が少なくなる様に、前記規制部材が移動することを特徴とする請求項 1 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 12】

紙幣を外部から一枚ずつ取り込む紙幣ユニットにおいて、

紙幣を前記紙幣ユニット内に取り込むための取込空間と、前記取込空間近傍に位置して回転する規制部材とを備え、前記取込空間に取り込む紙幣の種類や大きさに対応して前記規制部材の回転を制御することで前記紙幣の進行を規制して、前記紙幣の後端を前記紙幣ユニットの内部面に揃えることを特徴とする紙幣入出金装置。

【請求項 13】

前記内部面から前記規制手段までの距離が前記取込紙幣の大きさに合わせて変化する様に前記規制部材の回転を制御することを特徴とする請求項 12 に記載の紙幣入出金装置。

【請求項 14】

請求項 1 乃至 13 のいずれかに記載の紙幣入出金装置を備えたことを特徴とする現金自動取引装置。